



木津川市マスコットキャラクター
いづみ姫

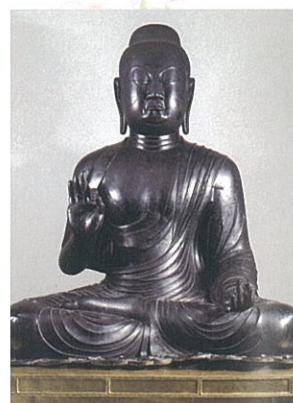
木津川あるきの便利帳

京都府木津川市観光パンフレット



木津川あるきの便利帳

いにしえの歴史が薫る文化創造都市を訪ねる



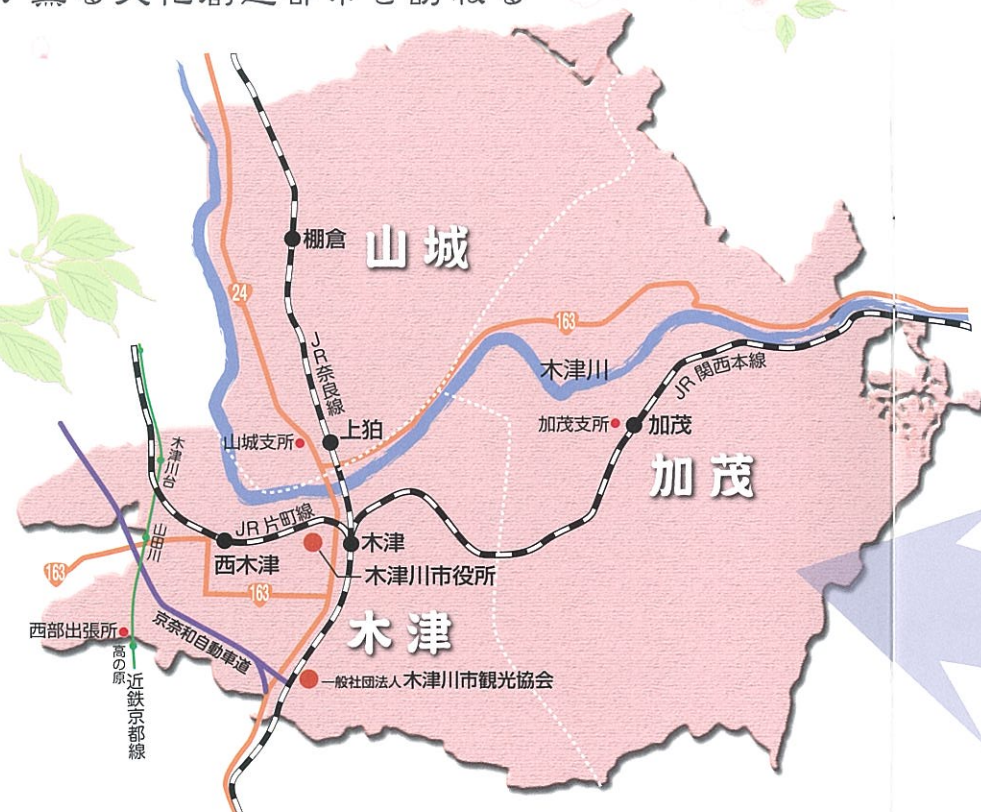
釈迦如来坐像(蟹満寺)



餅花(相楽神社)



浄瑠璃寺本堂



木津川市 マスコットキャラクター

はじめましていづみ姫です！
木津川市の観光PRやイベント
などで皆さんにお会いできる日を
楽しみにしています。
どうぞよろしくお願ひします。



木津川市の紹介

木津川市は、京都府南部の山城地域にあり、南は奈良県奈良市と接し、市内中央には木津川の清流がほぼ東西に流れています。原始古代から人々の営みがみとめられ、木津川の水運や渡来人により伝えられた高い文化・技術が育った地です。奈良時代の天平年間には聖武天皇が平城京から都を遷し、恭仁京(くにきょう)として5年にわたり日本の首都となりました。近年は、永い豊かな歴史のうえに関西文化学術研究都市としての開発がすすめられています。茶の栽培も古く、大都市近郊の立地条件を生かした近郊農業も盛んで、いにしえからの遺産に最先端の英知を有する未来志向の国際・文化創造都市としての素地を固めています。

市内には、浄瑠璃寺本堂や三重塔・庭園、海住山寺五重塔、蟹満寺釈迦如来坐像、神童寺本堂をはじめとして、京都府内では京都市に次いで多くの国宝・重要文化財があり、文化財の宝庫といわれています。当尾石仏の道や山背古道など、歴史情緒あふれる多くの散策コースがあります。また居籠祭(涌出宮)、餅花(相楽神社)、木津御輿祭(御霊神社など)、おかげ踊り(白山神社)など四季折々の伝統行事が継承されています。

いにしえのロマン溢れるまちの魅力を訪ねて歩いてみませんか。

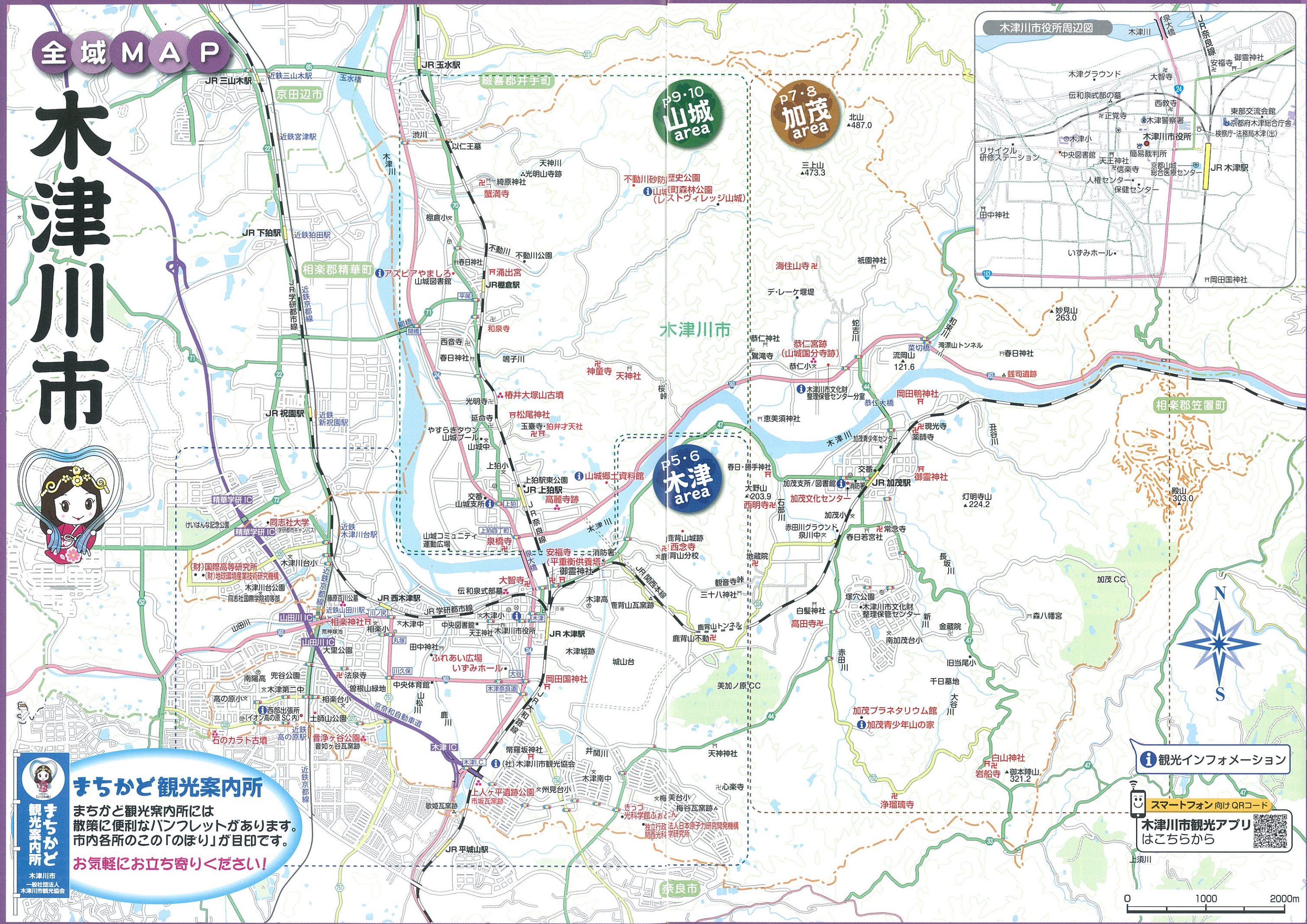


もくじ

木津川市の紹介・もくじ	1・2
木津川市全域 Map	3・4
木津エリア スポット・おすすめハイキングコース	5・6
加茂エリア スポット・おすすめハイキングコース	7・8
山城エリア スポット・おすすめハイキングコース	9・10
歳時記(春・夏)	11 12
歳時記(秋・冬)	13 14
特産品/学ぶ・遊ぶ	15 16
きづがわ歴史探訪	17・18
恭仁宮	19・20
学研都市(主要施設)/アクセス	21 22

全域MAP

木津川市



観光インフォメーション

スマートフォン向けQRコード

木津川市観光アプリ
はこちらから



まちかど観光案内所

まちかど観光案内所には
散策に便利なパンフレットがあります。
市内各所のこの「のほり」が目印です。

お気軽にお立ち寄りください!



木津

いにしへの息吹を体感する...

相楽神社 さがなかしんじや MAP B-2

江戸時代までは八幡宮と呼んでいました。現在は、本殿(重要文化財)、末社5社、豊八稲荷社、拝殿、南北氏子詰所、社務所、客殿、四足門、鳥居等で構成されています。建立年代は詳らかではありませんが、様式手法から室町時代初期(南北朝)と見られ、よく時代を現しているといえます。また、和様の細部に対し唐様と大仏様の手法を加えているところなど注目すべきものをもっています。

石のカラト古墳 MAP A-3

木津川市と奈良市の境、標高112mの丘陵緩斜面に築造された上円下方墳で、国の史跡に指定されています。立地から平城京遷都に関する皇族の墓ではないかといわれています。



安福寺 MAP C-1



開基は『往生要集』を著した恵心僧都と伝えられています。平重衡(たいらのしげひら)命終の引導仏と伝えられる本尊「阿彌陀如来坐像」がある本堂は「哀堂(あわんどう)」と呼ばれ、境内には重衡供養塔と云われる「十三重石塔」があり、近くに重衡にかかわる「首洗池(くびあらいいけ)」や「不成柿(ならすがき)」もあります。

先人からの贈り物、その想いに触れてみる

大智寺 MAP C-2



奈良時代に行基によって木津川(旧名:泉川)に架けられた泉大橋は、後に流れ落ちましたが、鎌倉時代に至って、残っていた橋柱から文殊菩薩を刻みだし、伽藍を建立して安置したのが現在の大智寺の前身の橋柱寺と言われています。その後衰退しますが、寛文9年(1669)東福門院の下賜によって本寂が中興、橋柱山大智寺と改号しました。

◆大智寺 伽藍(府登録文化財)
南山城地方で江戸時代中期(寛文期)の伽藍がこれだけ残るのは貴重として登録文化財となりました。木津川左岸の泉大橋の南に伽藍を構え、境内は西に山門、山門からの参道正面に西面して本堂、参道の北側に鐘楼堂、本堂北側からの渡り廊下で接続された庫裏が南面して配置される構成となっています。

◆大智寺 十一面観音立像(重要文化財)
平安時代の10世紀末に作られた像高109.1cm、一木造の像です。穏やかな表情、腕釧(わんせん・腕飾り)を一木から刻みだし、体に内割(うちくり)もない点に古様が認められます。

◆大智寺 文殊菩薩坐像(重要文化財)
鎌倉時代、弘安(1278~1288)年間に作られた高さ65.2cmの寄木造の像です。唐風の服をまとい、左手に経巻をのせた蓮華を、右手に宝剣を持ち、左足を垂らし獅子の上の蓮華座に坐っています。



本殿(重要文化財)

時をへて佇む遺産、いにしえを訪ねる

岡田国神社 MAP C-2

旧社殿は舞台を中心に拝殿・氏子詰所を配する相楽郡地域に伝わる社殿配置形態をとどめています。室町時代の惣の社の姿を伝える重要なものです。



旧社殿(府登録文化財)

拝殿

鹿背山 西念寺 MAP D-1



◆西念寺 薬師如来坐像(府指定文化財)
薬師堂の本尊です。平安時代後期、12世紀前半に作られたものです。右手を施無畏印とし、左手に薬壺をとる通例の姿ですが、製作技法は一木割彫造という特殊なものとなっています。台座は上から蓮華・束・華盤・数茄子・受座・反花・蛤座・二段框(隅足付き)という九重蓮華座で、当初からのものです。



縁起や棟札によれば、百済の僧がこの地で修行し、後に行基が堂塔を整備して鹿山寺とし、薬師如来を本尊としました。元禄6年(1693)に西念寺と名を改めました。



おすすめハイキングコース

- | | | | |
|--|--|---|---|
| <p>1 コース(約11km)
奈良時代の瓦葺跡を巡るコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近鉄高の原駅 WC 1 石のカラト古墳 2 音浄ヶ谷公園 WC (音如ヶ谷瓦葺跡) 3 上人ヶ平遺跡公園 WC (市坂瓦葺跡) 4 幣羅坂神社 5 法然上人念仏石 ● JR木津駅西口 WC | <p>2 コース(約10km)
鹿背山コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JR木津駅東口 WC 1 御霊神社 2 西念寺 3 鹿背山城跡 4 鹿背山不動 5 旧梅谷区公民館 6 岡田国神社 WC ● JR木津駅西口 WC | <p>3 コース(約6km)
木津外周コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近鉄高の原駅 WC 1 土師山公園 WC 2 法泉寺 3 相楽神社 WC 4 藤原百川公墓 5 伝和泉式部の墓 6 大智寺 ● JR木津駅西口 WC | <p>4 コース(約4km)
奈良街道コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JR木津駅東口 WC 1 上津遺跡公園 2 安福寺 3 不成柿・首洗池 4 木津惣墓五輪塔
極楽橋
奈良街道 5 三柱常夜灯 6 岡田国神社 WC ● JR木津駅西口 WC |
|--|--|---|---|

木津エリア
ハイキングコース



加茂

ここに残る風景に出会う...



浄瑠璃寺 MAP B-4

市域の東南部、奈良県との県境付近は、古くから小田原と呼ばれ、平安時代の後期には多くの修行僧が集まり、丘陵地の谷や峯に庵を営み仏教修行にいそしんでいました。小田原は大きく東西に二分され、東は随願寺(廃寺)を中心に子院や庵が集まり、西では浄瑠璃寺が中心で、現在は西小(にしお)といいます。寺の縁起には、奈良時代に聖武天皇が僧行基に命じて建立させたのがはじまりと伝えていますが、浄瑠璃寺の記録「浄瑠璃寺流記」では、永承2年(1047)に当麻出身の僧義明が薬師如来を安置して開基したことを伝えています。その後、平安時代末期になって九体阿彌陀仏を安置する阿彌陀堂(国宝)を建立し、庭園を整備して今日の姿になりました。



浄瑠璃寺 本堂(国宝)
庭園(特別名勝史跡)

美しい歴史的風土、いにしえから培われた美

海住山寺 MAP B-1

海住山寺は、天平7年(735)、聖武天皇の勅願により、東大寺の良弁僧正が開創したと伝えられています。山上の伽藍は貞慶が復興してからのもので、本堂の傍らにそびえる五重塔は、山並みに映える鎌倉時代の傑作で、国宝に指定されています。十一面観音立像や文殊堂、絹本著色法華経曼荼羅図、海住山寺文書はいずれも国の重要文化財に指定されています。



海住山寺五重塔(国宝)

岩船寺 MAP C-4

市域の東南部、奈良県境の小田原の東側に位置している古刹。寺の縁起によると、天平元年(729)、聖武天皇の勅願によって開基したと伝えられています。平安時代の本尊阿彌陀如来坐像、普賢菩薩坐像、鎌倉時代の十三重石塔や五輪塔、室町時代の三重塔(いずれも重要文化財)というように、それぞれの時代に優れたものが造られました。山あいにあることから、初夏の新緑、秋の紅葉に三重塔がなじんで、境内に興行きを与えています。また、境内一帯に植えられたあじさいが美しく「あじさい寺」として知られています。



岩船寺三重塔(重要文化財)

岡田鴨神社 MAP B-1



恭仁京遷都以前、和銅元年(708)9月、元明天皇が岡田離宮に行幸して「賀茂、久仁」の二里の人々に稲三十束を施しています。この二つの里の中心が、岡田鴨神社と岡田国神社です。現在の岡田鴨神社の本殿は、春日大社の本殿を移築した「春日移し」の社殿です。また、この神社は、京都の賀茂御祖神社(下鴨神社)の元宮です。

岡田鴨神社本殿

御霊神社 MAP B-2

加茂町兎並に位置し、元は灯明寺の鎮守社。灯明寺の建物等は横浜の三溪園に移築されたため、跡地には本尊などを安置する収蔵庫が設置されています。



御霊神社 本殿(重要文化財)

いにしへの厚みを感じる貴重な国宝、重要文化財の数々

高田寺 MAP B-3

本尊薬師如来坐像(重要文化財)は平安時代の洗練された仏像として知られています。像高87cm、台座の高さ75cmで昭和48年の修理の際、台座裏に保安の年号と藤原実方の「さつきやみ くらはし山のほととぎすおほつかなかも なきわたるかな」という歌が発見され、保安年間(1120~24)頃製作されたと云われています。この墨書の記述などから、昭和49年3月、国の重要文化財に指定されました。



薬師如来坐像(重要文化財)

西明寺 MAP A-2

加茂盆地大野山の麓にある真言宗の古刹で、僧行基の創建と伝えられています。江戸時代の大規模な洪水で現在地に移転。本尊薬師如来坐像(重要文化財)は、台座とも平安時代当初のもので、像は櫛の一木造で、胎内の銘文から永承2年(1047)9月造立と判明しました。



薬師如来坐像(重要文化財)

- WC トイレ 駐車場
- コンビニ
- コミュニティバス
- 奈良交通バス
- 国道・府県道
- ハイキングコース
- 観光インフォメーション

恭仁宮大極殿跡

山城国分寺塔跡

わらい仏(府指定文化財)

藪の中三尊

カラスの壺二尊

当尾の石仏を訪ねるみち
美しい日本の歩きたくなるみち500選(2004年)

当尾(浄瑠璃寺、岩船寺など)
美しい日本の歴史的風土100選(2007年)

おすすめハイキングコース

- | | | | | |
|--|---|---|--|---|
| 1 コース(約2km)
当尾の里石仏めぐり
● JR加茂駅東口WC
● バス 16分
1 岩船寺WC
2 貝吹岩
3 白山神社
4 一願不動
5 わらい仏
6 カラスの壺二尊
7 藪の中三尊
8 浄瑠璃寺WC
● バス 16分
● JR加茂駅東口WC | 2 コース(約8km)
いにしへの都・瓶原めぐり
● JR加茂駅西口WC
● 船屋通り
1 加茂浜
2 木津川万葉歌碑
3 恭仁大橋
4 海住山寺WC
5 恭仁宮跡WC
6 文化財整理センター分室WC
7 朱雀の井戸
● JR加茂駅西口WC | 3 コース(約5km)
社寺と加茂平野
伊賀街道道標めぐり
● JR加茂駅東口WC
1 御霊神社・旧灯明寺
2 伊賀街道道標
3 薬師寺
4 現光寺
5 八幡池
6 岡田鴨神社WC
7 伊賀街道道標
● 船屋通り
● JR加茂駅西口WC | 4 コース(約6km)
藤堂高虎の足跡めぐり
● JR加茂駅東口WC
1 常念寺WC
● 赤田川堤防
2 西明寺
3 春日・勝手神社WC
4 大阪城修築残念石
5 岡田国神社跡
6 洞の樋門
7 加茂浜
● 船屋通り
● JR加茂駅西口WC | 5 コース(約8km)
大仏鉄道遺構めぐり
● JR加茂駅東口WC
1 SL展示
● 二本松
2 新高田橋
3 高田寺
4 大仏線遺構
(観音寺橋台・鹿背山架橋台)
(観ヶ谷隧道・赤橋)
5 鹿背山不動
6 観音寺地藏院WC
7 ランプ小屋
● JR加茂駅西口WC |
|--|---|---|--|---|

山城

往時へいさなう“山背”の路をゆく...

涌出宮

MAP B-2

和伎座天乃夫岐売(わきにいますあめのふきめ)神社が正式名であり、俗に涌出宮と呼ばれています。雨をもたらす神として古代農耕民に崇拜され、中世以来続く宮座行事は、国の重要無形民俗文化財に指定され2月の「居籠(いこもり)祭」は、天下の奇祭として有名です。

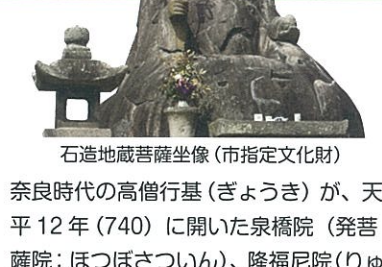


本殿(府登録文化財)

歴史風土と清流に育まれた 本津川沿いに佇む歴史的寺院

泉橋寺

MAP B-4



石造地藏菩薩坐像(市指定文化財)

奈良時代の高僧行基(ぎょうき)が、天平12年(740)に開いた泉橋院(発菩薩院:ほつぼさついん)、隆福尼院(りゅうきくふにいん)を前身とする寺院で、行基創建四十九院の一つといわれています。境内にある五輪塔は国の重要文化財に指定され、地藏堂跡に露仏として鎮座する石造地藏菩薩坐像は、鎌倉時代に造られたもので、高さ4.58mあり坐像では日本一の石地藏として有名です。

溪谷の豊かな自然に息づく 古代の伝説と史跡

松尾神社

MAP B-3



本殿(重要文化財)

玉臺寺は、かつて真言系寺院で狛井才天社の神宮寺でした。江戸時代に臨済宗妙心寺の僧智堪和尚が寺を再建し現在に至ります。周辺の弁天山は、木津川市の名勝の指定を受けています。

山背古道

やましろこどう

京都と奈良の間、南山城の山際に位置する城陽市、井手町、木津川市の2市1町を結ぶ全長25kmの山背古道は曲がりくねった起伏の多い小径。奈良に都があった頃、やましろを“山背”と表記していたことから名付けられたこの道は奈良から北陸に向けて通った古道をベースとしており、ロマンに溢れています。

蟹満寺

MAP B-1



普門山と号し、かつては紙幡寺、加波多寺とも表記され、白鳳時代の末期に創建されました。「古今著聞集」や「今昔物語集」に出てくる「蟹の恩返し」の縁起と国宝釈迦如来坐像で有名な寺です。釈迦如来坐像は蟹満寺の本尊で、高さ2.62m、重さ約2t余りの銅像です。

釈迦如来坐像(国宝)

神童寺

MAP C-2



(重要文化財)



蔵王堂(重要文化財)

神童寺は、古くから奈良の吉野山と密接な関係を持つ修験道の霊地です。「北吉野山神童寺縁起」によると、この寺は聖徳太子の創建と伝えられ、役行者(えんのぎょうじゃ)がこの山で修行中に二人の神童の助力を得て刻んだ蔵王権現像(ざおうこんげんぞう)を本尊とし、また多くの文化財を所蔵する古寺として知られています。室町時代に再建された本堂(蔵王堂)は、国の重要文化財です。また、収蔵庫には、国の重要文化財に指定されている木造不動明王立像、木造愛染明王坐像や木造阿弥陀如来坐像など多数安置されています。

天神社

MAP C-2



本殿(府登録文化財)



十三重石塔(重要文化財)

神社境内には、高さ約4.15mの十三重石塔があります。台石には建治3年(1277)10月3日の銘が刻まれ、建立年代の明らかな、容姿の整った石塔として、国の重要文化財に指定されています。このほか、石造宝塔など鎌倉時代の文化財が伝えられ、境内そのものも府文化財環境保全地区となっています。



おすすめハイキングコース

- | 1 コース(約10km) | 2 コース(約8km) | 3 コース(約8km) | 4 コース(約6km) | 5 コース(約12km) |
|--|--|---|--|---|
| 棚倉1日コース | 棚倉~神童寺1日コース | 上粕1日コース | 山背古道1日コース | 山城~加茂1日コース |
| <ul style="list-style-type: none"> 発 JR棚倉駅 WC 1 蟹満寺 WC 2 高倉神社(以仁王墓) 3 筒井浄妙塚 4 光明山寺跡 5 不動川砂防歴史公園 WC 6 谷山不動尊 7 十輪寺 8 涌出宮 WC 着 JR棚倉駅 WC | <ul style="list-style-type: none"> 発 JR棚倉駅 WC 1 涌出宮 WC 2 アスピアやましろ(三角縁神鏡展示室) WC 3 椿井大塚山古墳 4 松尾神社 5 神童寺 6 稲荷山 着 JR棚倉駅 WC | <ul style="list-style-type: none"> 発 JR上粕駅 WC 1 上粕環濠集落 2 茶問屋街 3 泉橋寺 WC 4 高麗寺跡 5 山城郷土資料館 WC 6 狛井才天社(玉臺寺) 7 小林家住宅 8 西福寺 WC 着 JR上粕駅 WC | <ul style="list-style-type: none"> 発 JR木津駅西口 WC 1 大智寺 2 泉橋寺 WC 3 山城茶業之碑 4 上粕環濠集落 5 小林家住宅 6 椿井大塚山古墳 7 アスピアやましろ(三角縁神鏡展示室) WC 8 涌出宮 WC 着 JR棚倉駅 WC | <ul style="list-style-type: none"> 発 JR棚倉駅 WC 1 涌出宮 WC 伊賀街道 2 神童寺 3 山城町森林公園 WC 伊 4 海住山寺 WC 5 恭仁宮跡 WC 着 JR加茂駅西口 WC |

*森林公園以降はP8 加茂エリア地図を参照

山城エリアハイキングコース

春

spring

木津川市の木：桜



女座(おなござ)の祭り 涌出宮 **MAP B-2**
岡之座・中村座の女衆が大根で作った擬物や供物を神前に供え、神楽が奉納されます。春の彼岸中日、午後3時頃。



蟹供養放生会 蟹満寺 **MAP B-1**
毎年4月18日に蟹満寺の縁起に基づいて行われる行事で、全国からカニ業者が参列します。住職の読経の後、境内の手水鉢にサワガニが放され、その年の高売繁盛と豊漁を祈願します。

春に集う花に憩う



厄除大祭 海住山寺 **MAP B-1**
3月に厄除護摩祈禱が執行され、希望者には厄除御飯(有料)が供されるほか甘酒の接待もあります。



恭仁大橋付近 / セイヨウカラシナ



不動川公園 / 桜

3

弥生

厄除大祭 海住山寺
女座の祭り 涌出宮
吉祥天女立像開扉(3~5月) 浄瑠璃寺

4

卯月

御影供(みえく) 海住山寺
蟹供養放生会 蟹満寺

5

皐月

吉祥天女立像開扉 浄瑠璃寺

6

水無月

行者まつり 浄瑠璃寺
虫送り 木津鹿背山地区
とらしょうしょう 鹿背山不動

7

文月

虫送り 山城町椿井地区
木津の祇園祭 天王神社
地蔵まつり 法蓮寺・泉橋寺
天満宮例祭 夏越祭 岡田鴨神社

8

葉月

五ツ擲しょうらい踊り 山城町上粕地区
市坂太鼓念仏 念仏石堂
台風除け祈願 相楽神社
風祈禱 神童寺



虫送り 山城町椿井 / 木津鹿背山地区
蛾などが田植えの済んだ苗に卵を産みつけるのを防ぐために、大太鼓の音が響くなか、たいまつ火によって虫をおびき出し駆除するという古くからおこなわれている伝統行事です。



行者まつり 浄瑠璃寺 **MAP B-4**
大日如来灌頂堂で法要が営まれます。境内の地蔵堂周辺では行者市やお茶席、墨跡展などが開催されます。また、灌頂堂では秘仏役行者三尊像が、地蔵堂では秘仏地蔵菩薩立像が特別公開されます。



浄瑠璃寺 / 下野草(しもつけそう)

夏

summer

額あじさい

御愁誘う祭の灯
古里の伝統行事



地蔵まつり 泉橋寺 **MAP B-4**
毎年7月に山城町上粕の泉橋寺と法蓮寺で行われる地蔵祭り。寺に続く沿道には夜店が並び、近隣の人々ににぎわいます。



しょうらい(精霊)踊り(府登録文化財) 山城上粕エリア
しょうらい踊りは盆に新仏の家をめぐる念仏踊系の盆踊りで、その起こりは室町時代までさかのぼります。現在では山城町上粕の五ツ郷地域だけが伝統芸能として伝承しており、京都府の登録文化財となっています。



茅の輪くくり(夏越祭:なごさい) 岡田鴨神社 **MAP B-1**
茅の輪くくりは、「備後風土記」の記述によると、堅い地表を破り、夏場であっても青々と生育する茅がやに霊的な力があるとされ、この茅の輪をくぐるにより罪や穢れを洗い清め、災厄を免れ、1年を無事に過ごせると信じられています。

photo gallery



ふれあい広場 / 桜・セイヨウカラシナ



神童寺 / みつばつし・桜



岩船寺 / あじさい



浄瑠璃寺 / 黄菖蒲

photo gallery

秋

autumn

木津川市の花：コスモス



護摩たき 神童寺 MAP C-2

毎年9月におこなわれる神童寺の護摩たき。護摩木を燃やし、無病息災・増益敬愛を祈る行事で、毎年多くの人がご利益にあずかろうと訪れます。



アーイー（相撲奉納） 涌出宮 MAP B-2

4つの座からの代表の子供が神前相撲を行い、秋の取り入れの確かなことを神に祈る豊作祈願です。



加茂町河原／彼岸花

秋空に映える色とりどり
壮麗な祭神樂



木津御輿祭（市指定文化財） 御霊神社・岡田国神社・田中神社 MAP C-1・2

江戸末期に始まり、かつては9基の御輿が2日間連なって練り歩き、御霊神社ほか田中神社・岡田国神社の拝殿廻りを行っていました。現在は、10月中旬の土曜日に、敬神組・拝神団の御輿が御霊神社に、翌日の日曜日には、社町・義友会の御輿が岡田国神社に、小寺の御輿が白山神社にそれぞれ町内を練り歩き、午後には各神社への宮入りが行われます。

おかげ踊（府指定無形民俗文化財） 白山神社 MAP C-4

室町時代に建立された白山神社本殿（重要文化財）と撰春日神社（府登録文化財）は加茂町岩船区の氏神として祀られています。毎年10月16日に奉納されるおかげ踊は江戸時代に流行した伊勢参りのなごりといわれ、昭和46年に復興され京都府の無形民俗文化財に登録されました。南山城では幕末に「ええじゃないか」の爆発的な流行を呼び、岩船には当時の輪舞の絵馬が奉納されています。



海住山寺／もみじ

9

長月

アーイー（相撲奉納） 涌出宮
護摩たき 神童寺

10

神無月

岩船のおかげ踊 白山神社
綺原祭 綺原神社
百味御食 涌出宮
秋祭り・木津御輿祭 岡田国神社・
御霊神社・田中神社

11

霜月

海住山寺特別展 海住山寺
吉祥天女立像開扉 浄瑠璃寺

photo gallery



菟仁宮跡／コスモス



三上山（さんじょうさん）

冬

寒椿

winter



居籠祭（いごもりまつり）（重要無形民俗文化財）

その年の1年の稲作の豊作を予祝する農耕儀礼として、毎年2月第3土日に涌出宮でおこなわれます。南山城地方最古の祭りとして知られ、この祭りを含む宮座行事が国の重要無形民俗文化財に指定されています。「居籠」とは外出を慎み、心身を清める意味で、かつて村人たちは居籠祭神事の際は家に居籠り一切音を立てなかったといわれています。室町時代中期の農耕儀礼やお田植え行事をよく伝承しているものとして、民俗学的に多くの研究者の注目を集めています。祭りそのものの発生は農耕が始まった時代にまでさかのぼると考えられます。



涌出宮 MAP B-2



中風封じ大根炊き 海住山寺 MAP B-1

護摩焚き・ご祈祷の後、檀家さんが二日前から仕込むという大根炊きが振舞われます。田楽味噌の香りと大根の柔らかさが、体にしみ渡ります。「中風封じ」に「封じ」は「病を癒す」という意味で、「大根」には「大願」とも書かれます。「観音様」とあります。

相楽の御田（おんだ）と正月行事（府指定文化財）

相楽神社 MAP B-2



御田（おんだ）
1月15日昼、4人の宮守とソノイテ（巫女）によって行われる予祝儀礼で、祝詞に始まり、鎌初め・鋤初め・肥打ち・苗代しめ・種まき・春田打ち・田植えまでの稲作の過程を演じるものです。古風な歌を伝えており、芸能としても貴重な伝承となっています。
粥占（まめやし）
1月14日夜に社務所でおこなわれます。大豆を焼きそのはぜ方（焼いてきた節目）で十二月の水の状況を占うものです。相楽神社の正月行事です。
粥占（かゆうら）
1月15日朝、小豆粥を煮て篠竹につまった粥の状況を早・中・晩稲の作柄を占う神事です。

12

師走

中風封じ大根炊き 海住山寺
除夜の鐘

1

睦月

恵比寿祭 恵比寿神社
火渡り 和泉寺
吉祥天女立像開扉 浄瑠璃寺
御田 大宮神社・相楽神社
豆焼 相楽神社



餅花祭
2月1日の昼におこなわれます。餅を刺した竹串を粘土を芯にした藁包みに刺して満開の花に見立て、これを奉納して豊作を祈るものです。



火渡り 和泉寺 MAP B-2

火をもって煩惱を焼き清めます。相楽講の行者さんによる祈祷の後、クライマックスは参拝者も参加する「火渡り」で盛り上げられます。焼きみかんや善哉などの振る舞いもあります。

2

如月

餅花祭 相楽神社
三重塔（国宝）開扉 浄瑠璃寺
いごもり祭（居籠祭） 涌出宮

いにしえから今日へ
人々が祈る五穀豊穡

photo gallery



岩船寺



浄瑠璃寺

特産品

product

生産者の顔が見える特産品の数々。



梅谷の大根・スイカ



お茶



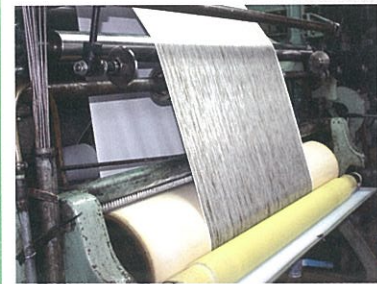
心を込めて育て上げた特産品



相楽木綿

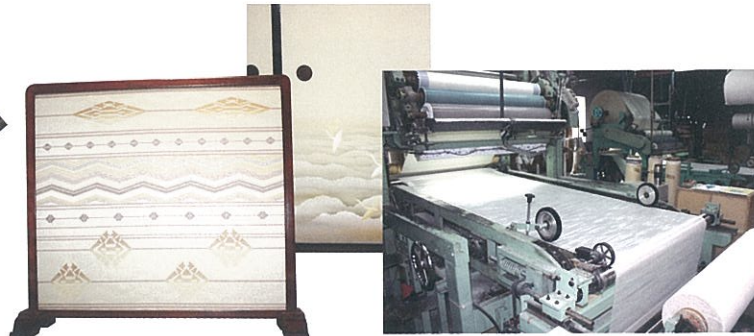
明治から昭和10年代にかけて、木津川市相楽地区を中心に相楽木綿(さながかめん)と呼ばれた木綿織物が盛んに織られていました。相楽木綿には、無地、縞、紺といずれの柄もありますが、色糸と紺の多様使いが特徴です。

受け継がれる伝統工芸



壁紙

織物・和紙など天然素材を主とした壁紙は、全国トップクラスの生産高を有しています。木津川市は、古くから綿・スフ織物の産地として有名で、織物から染色・仕上げまで一貫した生産設備を持った壁紙メーカーもあります。



襖紙

天然素材の麻・綿そして木から生まれたレーヨン糸などを使用した、織物ふすま紙が製造されています。

鹿背山の柿



当尾のこぼろ



山城のぶどう・たけのこ



当尾の吊り店

浄瑠璃寺から岩船寺周辺の道沿いに、季節の野菜を中心に漬物、手作り菓子など当尾の産物が売られています。



花野果市(はなやか市)

MAP C-2

「手間がかかっても安心して食べられる美味しく、安全な野菜づくり」をモットーに、農家のおじさん・おばさんとの対面販売で、都市と農村との交流を図ります。
開催期間：年中無休(ただし年末年始は除く)
営業時間：9:30~17:00 住所：木津川市木津八色 18-7
主な取扱商品：野菜・果実/花/農産加工品等
お問い合わせ先：JA 京都やましろ 木津支店 0774-72-0080

柿渋

木津川市をはじめ京都山城地方では、先人がお茶と共に渋柿を増殖し、更に柿渋造りに適した渋柿の品種改良を重ねました。こうして、柿渋造りの好適地である「天王柿」の産地、そして日本の代表的な柿渋の産地となっています。

文化の発信基地

加茂プラネタリウム館

MAP B-4



豊かな自然に囲まれた環境の中「星と自然と心のふれあい」をテーマに、アットホームな雰囲気の中で美しい四季の星空や宇宙に関する話題を提供しています。隣の加茂青少年山の家では宿泊やバーベキュー等のご利用もできます。

開館時間：9:00~16:30
投影時間：一般投影(土日祝日および学校長期休業期間中の火・水・金) ①10:30~ ②13:30~ ③15:00~
団体投影(上記以外の火・水・金) 9:30~15:00(10名以上・予約制)
住所：木津川市加茂町若船ガンド2番地
休館日：毎週月曜日・木曜日、年末年始
臨時休館(特別催事・保守点検(年2回))
料金：有料(木津川市内の3歳~小学生は無料)
お問い合わせ先：0774-76-7645

リサイクル研修ステーション

MAP C-2



地球規模の環境問題から身近なごみ問題までの研修と実践を進めるため、開設しています。3R(リデュース(廃棄物の減量化)、リユース(有効利用)、リサイクル(再資源化))活動を基本コンセプトとしごみゼロ社会の実現に向けた取り組みをしています。この建物は郵便局をリユースした建物です。

開館時間：8:30~17:00
住所：木津川市木津神田2-1
休館日：月曜日・祝日(月曜日が祝日の場合その翌日)
お問い合わせ先：0774-75-2140

京都府加茂青少年山の家

MAP B-4



静かな山あいにつくられた青少年の施設ですが、どなたでも気軽にご利用いただけます。
住所：木津川市加茂町尻枝七辻15-1
休館日：毎週木曜日・年末、年始
お問い合わせ先：0774-76-3130(8:00~17:00)
宿泊：16:00~翌日9:00(水・木の宿泊は不可) 和室10畳(6室)、15畳(2室)
食事：上記和室以外に35畳(1室)あり
貸室：定食、鍋料理、弁当、バーベキュー等 ※持込バーベキュー可
テニスコート：2面 利用時間8:00~22:00
ゲートボールコート：1面 利用時間8:00~17:00
※宿泊、食事、施設利用は事前予約制です。

京都府立山城郷土資料館(ふるさとミュージアム山城)



南山城の歴史資料、考古資料、民俗資料等の保存及び展示をしている資料館。企画展や特別展、セミナー・各種講座などのイベントも開催されます。

開館時間：9:00~16:30
住所：木津川市山城町上狛千両岩
休館日：月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、12/28~1/4
料金：大人200円、小学生50円
お問い合わせ先：0774-86-5199

学・遊

museum・park

加茂文化センター(あじさいホール)

MAP B-2



市内で最大の収容人数500名の「あじさいホール」と、研修室、和室、調理室などを備えた市民の文化・交流を深める施設です。
開館時間：9:00~22:00
住所：木津川市加茂町里南古田156
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日
お問い合わせ先：0774-76-4611

山城総合文化センター(アスピアやしろ)

MAP B-2



多目的ホールの他、視聴覚室などの会議室も備え、文化の発信基地・交流の場としての役割を担う施設です。
開館時間：9:00~22:00

住所：木津川市山城町平尾前田24
休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)、祝日の翌日
お問い合わせ先：0774-86-5851

中央交流会館(いずみホール)

MAP C-2



多目的ホール、研修室、クラフト室、調理教室などがあり、「市民の文化・交流の場として」利用されています。

開館時間：9:00~22:00
住所：木津川市木津宮ノ内92
休館日：月曜日(12月29日~翌年の1月3日まで)
お問い合わせ先：0774-72-8800

ふれあい広場

MAP B-2



住民に親しまれ、創意・工夫を凝らした地域のシンボルとして、平成6年度「手作り郷土賞」を受賞した公園です。緑の竹林に立つ高さ3~8メートルのステンレス製パイプは、町制100周年にちなんで建てられた100本のモニュメントパイプで、うち20本が自然風で音を奏する「音の記念碑」になっています。このパイプは、風の強さにより雅楽のような音を奏で、夜間はライトアップされ幻想的な雰囲気を出します。

美しい自然で森林浴を満喫する

山城町森林公園(レストヴィレッジ山城)

MAP D-1



耳をすませば小鳥のさえずりや川のせせらぎが聞こえる、自然いっぱいの森林公園。キャンプ場のほかにもバンガローやログハウスといった宿泊施設もあり、泊まりがけでも自然を楽しむことができます。

住所：木津川市山城町神童子三上山1
お問い合わせ先：0774-86-4507

【利用料金】
環境整備協力金：大人(中学生以上)200円 小人(小学生)100円
駐車場：1台500円 バンガロー(4人用)1泊6,000円~
ログハウス(8人用)1泊12,000円 テントサイト:1カ所500円
※バンガローとログハウスの宿泊には別途寝具使用料(1人200円)が必要です。

不動川砂防歴史公園

MAP C-1



この地域一帯は、デレレークによってヨーロッパ式の近代砂防技術が日本にはじめて導入された記念すべき地として、京都府により砂防歴史公園として整備され、砂防施設は府指定建造物となっています。休日にはアウトドアやレクリエーションなどで多くの人に利用されています。平成12年には日蘭400周年を記念し、公園内にデレレークの銅像が設置されました。

きづがわ歴史探訪



南山城に位置するこの地は、旧石器時代から人が住み、山あいの地でありながら、木津川をとおして早くから朝鮮半島などと交流がありました。古墳時代を経て、飛鳥、藤原、平城などの都への入口として、都と各地を結ぶ接点の地として、その歴史と文化を育んできました。平安時代、東大寺や興福寺などを領主とする荘園がおかれたため奈良や京都の文化の影響を大きく受け、神社仏閣も数多く建立されました。鎌倉時代になると村人たちは有力者を中心にまとまり、石仏や十三重石塔、五輪塔を建て、石に仏を刻んで神仏の信仰が庶民に行き渡っていきました。15世紀後半の応仁の乱は山城地域を戦場としましたが、地元武士を中心に結束した人々は、軍勢を追い出し地域の自治を行いました。これが山城国一揆です。江戸時代、山城地域は豊かな農村地帯となり、木津川水運を利用して、農産物などを伏見・京都に積み出し、必需品を運び上げました。また、煎茶製法の改良によって、お茶の栽培が急速に広がり、幕末期以降、煎茶は欧米に輸出されるようになりました。明治時代になると鉄道や道路の交通網の整備が進み、しだいに木津川の水運の役割は小さくなりました。最近では、京都・大阪・奈良のベッドタウンとして人口が増加するとともに、関西文化学術研究都市の建設が進められ、大きな発展を遂げています。

時代区分	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	江戸	明治
木津				奈良山瓦窯跡		安福寺・平重衡の墓			
加茂				上津遺跡		浄瑠璃寺			
山城				高麗寺跡					

相楽山銅鐸 ● **大鳥遺跡** **MAP B-3**
 (袈裟褌文銅鐸: けさだすきもんどたく) (市指定文化財)
 ニュータウン工事地内から出土した高さ 40.5cm の銅鐸で、僧侶の袈裟に似て、身を六区に区画することから六区画袈裟褌文銅鐸と呼ばれています。出土地近くの大鳥遺跡では、弥生時代中期後半の竪穴式住居跡・方形周溝墓などが発見され、銅鐸を埋納した集落と判明しています。



● **高麗寺跡 (国指定史跡)** **MAP C-3**
 7世紀初頭(飛鳥時代)に創建された国内最古の寺院跡のひとつで、高句麗からの渡来氏族(高麗)の氏寺として創建されたと考えられています。「日本書紀(にほんしよき)」には天平年中(奈良時代)に存在したことが記され、伽藍(がらん)は木津川を見下ろす台地上に南面して、西に金堂、東に塔を持つ法起寺式の配置となります。



● **銭司遺跡 (府指定史跡)** **MAP C-1**
 我が国の古い貨幣として知られている「和同開珎」(わどうかいちん)を鑄造していたところです。この場所からは、鞆の羽口(ふいごのはくち)や埴壇(るつぼ)のほか銅銭だけでなく銀銭も出土しています。銭司(ぜす)の地名は、この鑄銭司(造幣局)に由来するものです。



● **樺井大塚山古墳 (国指定史跡)** **MAP B-3**
 古墳時代前期(三世後半)のなかでも最古に位置づけられる代表的な前方後円墳です。昭和28年、古墳の後円部を南北に走る国鉄奈良線(現在のJR奈良線)の法面拡幅工事が行われた際に、竪穴式石室が発見されました。発掘調査で、石室内から、邪馬台国の女王卑弥呼の鏡とも呼ばれる「三角縁神鏡(さんかくふちしんじゅうきょう)」三十数面を含む四十面近い銅鏡や多くの副葬品が出土し、全国的に大きな注目を集めました。

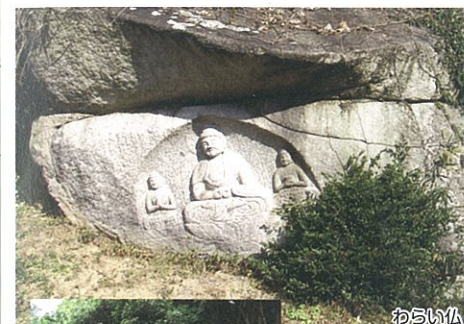
● **上津遺跡** **MAP C-1**
 奈良時代の木津川(当時は泉川)の南岸のこの地には「泉津(いすみつ)」と呼ばれる港が開かれ、平城宮や南都諸大寺の出先機関「木屋所(こやしよ)」が設置されていました。昭和51年の発掘調査では、160m以上も東西に延びる溝、更に並列する柵、建物の跡や多数の遺物が出土しています。

● **奈良山瓦窯跡 (国指定史跡)** **MAP B-C-3 D-2-3**
 音如ヶ谷瓦窯跡・鹿背山瓦窯跡・市坂瓦窯跡・梅谷瓦窯跡・歌姫瓦窯跡(奈良市) 今から1300年の昔、平城遷都が決定し、都近郊には様々な工房が設けられました。平城宮の宮殿や役



所に葺かれた瓦は、数百万枚ともいわれています。京都と奈良の境にある奈良山丘陵は瓦に必要な粘土や燃料に恵まれており、瓦の一大拠点となりました。そのうち音如ヶ谷瓦窯跡は、1979年の発掘調査によって4基の瓦窯跡と数棟の掘立柱建物が発見され、瓦の文様から「法華寺阿彌陀浄土院」創建瓦を焼いた窯であることが判りました。木津川市では鹿背山瓦窯跡、市坂瓦窯跡、梅谷瓦窯跡と併せ4ヶ所の瓦窯跡が、歌姫瓦窯跡(奈良市)を含め「奈良山瓦窯跡」として国の史跡に指定されています。

● **当尾の石仏** **MAP B-C-4**
 (当尾磨崖仏(まがいぶつ)文化財環境保全地区) 「美しい日本の歴史的風土100選」
 市内東南部の当尾地区には、多くの石仏や石塔があることで知られています。特に平安時代から修行僧の庵室や行場が設けられていた当尾には、浄瑠璃寺・岩船寺の界隈に、鎌倉時代後期から室町時代にかけて、行き交う人々のために多くの磨崖仏が造立されました。繊細で芸術性の高い石仏が多く点在し、石仏の里として訪れる人が絶えません。



● **大仏鉄道遺構** **MAP D-2**
 約100年前に開通して、わずか9年余りで廃止された鉄道です。かつての路線跡に鉄道構造物やランプ小屋が残っています。

● **上拍の茶問屋街** **MAP B-3-4**
 近郊では江戸時代から優れた品質の茶の栽培と製茶が盛んで、幕末には木津川の水運を利用して神戸に出荷し、世界に輸出されていました。木津川の浜に近い山城町上拍南部には製茶工場や茶問屋が集積し、最盛期には120軒を数えたといわれています。現在も約40軒の茶問屋が軒を連ね、「茶問屋ストリート」と呼ばれる町並みが往時の雰囲気を残しています。

● **不動川砂防歴史公園** **MAP C-1**
 (テ・レーケ堰堤) (府指定文化財)
 明治6年に政府の招きにより来日したオランダ人工師ヨハネス・デ・レーケは日本の治水事業の発展の基礎を築いた人物です。なかでも不動川上流に数多く築かれた石積の砂防堰堤は日本で最初に築かれたもので、100年以上経った現在もその姿を残しています。

● **大井手用水路** **MAP B-1**
 貞応元年(1222)海住山寺二世慈心上人は、瓶原の住民が水不足で苦勞しているのを見て、和束川から水を引く大井手用水路の建設を計画し、二十余年の歳月を費やして完成させました。その延長は6,759mに及んでおり、このおかげで米の収穫量が大幅に増え、今も瓶原一帯を潤しています。



● **上拍環濠集落 (市指定史跡)** **MAP B-3**
 上拍環濠集落は、通称「大里」と呼ばれ、長径600m、短径300mの周囲を堀に囲まれ、山城国一揆の舞台となった村の一つとして村人たちの生活や村を治めた国人貳氏に關する遺跡と文化財が残り、惣村の風景を想像することができます。

● **木津惣墓五輪塔 (重要文化財)** **MAP C-2**
 鎌倉時代、正応5年(1292)に建立された、高さ3.6m、花崗岩製の五輪塔です。惣墓とは、一般大衆のあいだに個人墓が普及していなかった時代の葬禮儀式の一形態で、いわゆる共同墓地という意味を持っており、主に大・山城地方に分布しています。建立年代の判る五輪塔として貴重なもので重要文化財となっています。



● **大阪城修築残念石** **MAP A-2**
 加茂盆地の西側、大野山の東斜面には、何カ所かに斜面の岩盤から切り出された大きな石が残っています。また、大野の勝手神社下の木津川にも、2~4mほどの花崗岩の切石がたくさん点在しています。これらは、藤堂高虎によって切り出され、徳川氏の大坂城復興に用いられた石材の一部です。大阪城へ運ばれなかった石材は、残念石と呼ばれ現在も多くが河原に残されたままです。



● **以仁王墓 (高倉神社)** **MAP B-1**
 ● **平重衡の供養塔** **MAP C-1**
 高倉神社は、平安時代末期の後白河法皇の第二皇子以仁王(もちひとおう)を祀り、隣接して以仁王の御墓があります。「平家物語」によると、平家に追われた以仁王は、南都の興福寺をたよって都から落ちる途中、この地「光明山の鳥居の前」で流れ矢に当たって落命したとあります。平重衡は、平清盛の五男で、平氏に従わない勢力の拠点である東大寺・興福寺を焼き討ちにしたことで有名です。「一の谷の合戦」に敗れ捕虜となり、焼き討ちにあったお寺の衆徒の要求で奈良に送られ木津川原で斬首されました。



● **上拍環濠集落 (市指定史跡)** **MAP B-3**
 上拍環濠集落は、通称「大里」と呼ばれ、長径600m、短径300mの周囲を堀に囲まれ、山城国一揆の舞台となった村の一つとして村人たちの生活や村を治めた国人貳氏に關する遺跡と文化財が残り、惣村の風景を想像することができます。

● **木津惣墓五輪塔 (重要文化財)** **MAP C-2**
 鎌倉時代、正応5年(1292)に建立された、高さ3.6m、花崗岩製の五輪塔です。惣墓とは、一般大衆のあいだに個人墓が普及していなかった時代の葬禮儀式の一形態で、いわゆる共同墓地という意味を持っており、主に大・山城地方に分布しています。建立年代の判る五輪塔として貴重なもので重要文化財となっています。

● **大阪城修築残念石** **MAP A-2**
 加茂盆地の西側、大野山の東斜面には、何カ所かに斜面の岩盤から切り出された大きな石が残っています。また、大野の勝手神社下の木津川にも、2~4mほどの花崗岩の切石がたくさん点在しています。これらは、藤堂高虎によって切り出され、徳川氏の大坂城復興に用いられた石材の一部です。大阪城へ運ばれなかった石材は、残念石と呼ばれ現在も多くが河原に残されたままです。



恭仁宮

よみがえる古代の都

今からおよそ1300年前
木津川市に都が造られ
歴史の中心舞台となりました。



恭仁宮跡が立地する瓶原地区は、京都府最南端に位置する木津川市加茂町にあります。瓶原地区は、平城宮跡の北方に位置し、三方を急峻な山で囲まれ、南に木津川が流れる盆地となっています。恭仁宮は南に広がる自然地形を利用して造営されました。

恭仁宮跡周辺には重要な寺院や古代の造幣局跡などが立地し、かつてこの一帯が古代の中核地域であった痕跡が明らかになってきました。かつて「万葉集」にも詠われた恭仁宮の地はのどかな農村として受け継がれ、秋には一面のコスモスが人々を楽しませてくれます。

地下に眠る往時の遺構は、地域の人々により今日まで守り伝えられてきました。瓶原に現在も残る大極殿の基壇と山城国分寺の塔跡の巨大な礎石が往時を偲ばせています。

天平12年(740)、聖武天皇は、疫病や戦乱に見舞われ、社会不安が全国的に高まっていた事態を一新するため、平城京からの遷都を決意し、山背国相楽郡恭仁郷を新しい都と定め遷都しました。

恭仁宮は、それまでの都に比べ規模も小さく、わずか5年あまりの短命な都でしたが、この間、諸国に国分寺・国分尼寺建立を命じたり、墾田永年私財法など重要な政策を行い、日本の中心としてその役割を果たしました。また、この時期に大仏造営にも取り掛かっています。



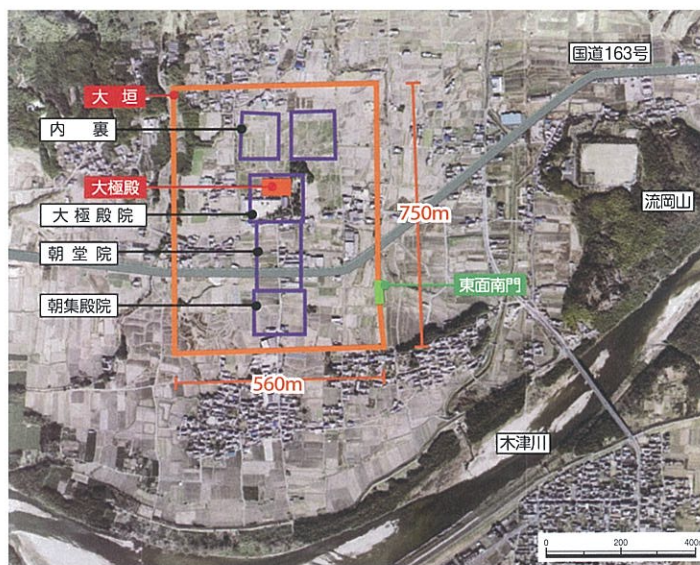
瓶原地区(木津川上流から西を望む)

恭仁宮の規模は、東西約560m、南北約750mの長方形で、面積約42haであったことが確認されています。

恭仁宮は、宮の中心地区である「大極殿院地区」、その背後の東西に並んだ2つの「内裏地区」、大極殿院地区の南側の「朝堂院」、「朝集殿院」によって構成されていました。また、宮の周囲は「大垣」と呼ばれる堀によって囲まれており、南東部には「東面南門」がありました。

恭仁京の範囲については不明な点も多くありますが、恭仁宮のほぼ正面を木津川を隔てて南北に連なる鹿背山(大野山)の東側(加茂地区)を左京、西側(木津・山城地区)を右京とする説が有力です。

- 710年(和銅3年) 平城京に都が遷都される
- 724年(神亀元年) 聖武天皇が即位する
- 740年(天平12年) 九州で藤原広嗣が反乱をおこす
恭仁宮に遷都される
- 741年(天平13年) 天皇、恭仁京で朝賀を行う
国分寺・国分尼寺造営の詔が出される
- 743年(天平15年) 墾田永年私財法が出される
大仏造営が決定される
- 745年(天平17年) 恭仁宮から難波宮に遷都される
再び平城京に遷都される
- 746年(天平18年) 恭仁宮大極殿を国分寺に施入する
- 752年(天平勝宝4年) 東大寺大仏開眼供養
- 784年(延暦3年) 長岡京に遷都される
- 794年(延暦13年) 平安京に遷都される



◆大極殿院

恭仁宮の中心地区である大極殿院地区は広い前庭をとめない、前庭から1段高い位置に大極殿が建てられていました。大極殿は、天皇を中心とした儀式や政治を行ううえで最も重要な建物でした。現在でも、東西約60m、南北約30m、高さ約1mを測る土壇が残されており、これが大極殿の基壇と推定されています。発掘調査により13箇所の礎石据付痕跡や基壇の一部、正面中央階段等が発掘されました。これらの調査や文献によって恭仁宮の大極殿建物は、第一次平城宮の大極殿を移築したものであることが明らかになりました。平成22年(2010)に平城宮大極殿跡に復元された大極殿建物は、恭仁宮跡の発掘調査結果も参考に建築されました。



恭仁宮跡 CG 復元図



平城宮跡に復元された 第一次大極殿(平城遷都1300年祭2010.5)

◆内裏

大極殿院地区の背後には、東西に並んだ2つの区画の内裏地区がありました。天皇が日常生活を送るところで、時には政治を行い、臣下を招き宴会なども開かれました。

◆朝堂院・朝集殿院

大極殿院地区南側には朝堂院がありました。朝堂という名は、役人たちが夜明けから昼頃までここで仕事をしたことが由来となっています。正月の朝賀や外国使節が訪れたときには、役人たちが朝堂院の広場に並び、儀式を行いました。発掘調査により、周囲を掘立柱塀で囲まれていたことがわかっています。朝堂院の南は朝集殿院となっており、朝堂院で行われる儀式が始まるまで役人が待機する場所であったと考えられています。

◆大垣・東面南門

宮の周囲は、大垣と呼ばれる、高さ5mにもおよぶ大規模な土塀で囲まれていました。版築により構成された基壇と、雨落溝が発掘されました。大垣の四面には、出入りのための宮城門がつくられ、警備兵により厳重に守られていました。発掘調査により、東面南門は礎石建の八脚門であることが判明しました。



恭仁宮大極殿跡



山城国分寺塔跡

◆山城国分寺の誕生

天平17年(745)、恭仁宮から難波に都が遷されると、翌天平18年(746)、宮跡の中心部分は、当時全国的に進められていた国分寺建立の動きに合わせて、「山背国分寺」として生まれ変わることになりました。

国分寺は東西約275m、南北約330mという広い伽藍を持っていました。かつての大極殿は金堂として再利用され、新たに七重塔が造営されました。こうして完成した山城国分寺も鎌倉時代以降には勢力が衰え、寺の規模も徐々に縮小していったと考えられます。現在も七重塔跡には、土壇の上に15個の巨大な礎石が残されています。

※平成22年3月木津川市教育委員会発行「恭仁宮」より一部引用しています。

学研都市

関西文化学術研究都市

学研都市

文化の薫る創造的な都市を目指して。



けいはんな学研都市

関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)は、京都・大阪・奈良の三府県にまたがる豊かな自然・歴史・文化的環境と地理的に有利な条件に恵まれた京阪奈丘陵に立地しています。産・学・官の密接な連携のもとに文化、学術、研究、産業の新しい拠点を形成するとともに、未来を拓く知の創造都市として、魅力ある居住環境、都市環境の創造を目指すナショナルプロジェクトです。



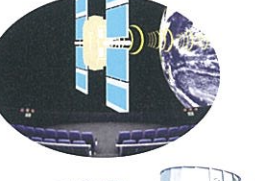
きつづ光科学館ふおとん

「光」をテーマにした日本で初めての科学館です。科学館では、太陽の光をはじめとする自然界のさまざまな光やレーザーなどの人工の光について、光の基本的性質から最先端の光利用技術まで、体験を通じて楽しみながら学ぶことができます。1階には木津・学研コーナー、光の再発見ゾーンがあり、2階には光の科学ゾーン、光の技術ゾーンなどがあります。人気の映像ホールでは「きつづ光アカデミー光の世紀」「今日の星空」の光に関する映像を見ることができます。

開館時間：10：00～16：30 住所：木津川市梅美台8丁目1-6
休館日：月曜日・火曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、12/29～1/3
料金：無料 お問い合わせ先：0774-71-3180



きつづ光科学館ふおとん/独立行政法人 日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所 MAP-D-3



独立行政法人 日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所
これまでに開発した先進的レーザーを活用した医療分野等への応用やナノテクノロジー、バイオテクノロジーに新たな展開が期待できる最先端科学の研究を行っています。

学研都市は、近畿圏が集積してきた学術研究機能、産業機能、都市機能を活用しながら、関西の文化学術研究拠点をネットワーク化し、全国、世界の学術文化研究機能との連携・結合を目指しています。また、木津川市には、全国的にも珍しい体験施設や多くの研究施設が立地しています。

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE) MAP-A-1



地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO₂)を削減するための研究を行っています。発電所や製鉄所などから放出される排気ガスからCO₂を取り除き、地中へ埋めるCO₂回収・貯留技術、植物の茎や葉などのバイオマス資源から燃料や化学品を生産するバイオリファイナリー技術、様々な温暖化対策技術を分析・評価し、より効果的な温暖化対策・政策立案に役立つシナリオ策定など、地球環境と経済発展の両立を目指した研究開発を行っています。

公益財団法人国際高等研究所 (IIAS) MAP-A-1



同志社大学(学研都市キャンパス) MAP-A-1

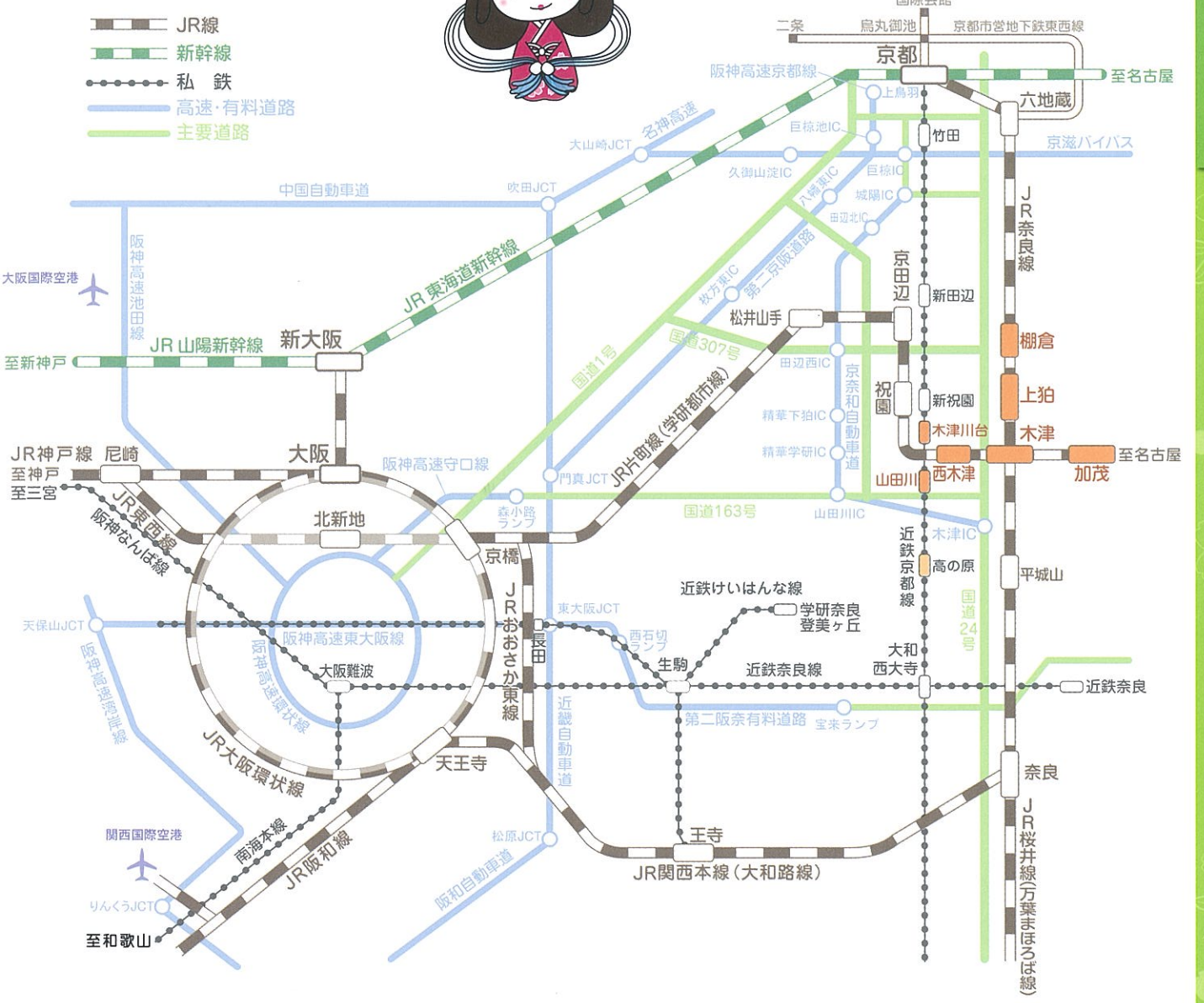


国際高等研究所は、産・学・官の支援のもと、1984年に財団法人として設立されました。従来の学問分野や世代を超えた知の交流型蓄積により、未知の学術の領域に新たな学術の芽を探し、次の世代に向けた学術の芽を見つける活動を中断することなく、近未来の人類の発展に対して継続的に学術の芽を育てて供給することにより、我が国の学術研究の発展に貢献することを目指しています。

同志社大学5番目のキャンパス。敷地面積50,000㎡、建物面積8,500㎡の用地を、現代的な応用研究の方向性を切り開く研究センターや2012年度より開設された脳科学研究科の実験施設として活用。生命・理工系、文理融合など複合的分野の研究を行っています。

※「きつづ光科学館ふおとん」以外の施設は公開していません。

木津川市へのアクセス



鉄道利用の場合

- 京都駅から 約35分**
 - 京都駅→(JR奈良線快速)→木津駅
 - 京都駅→(近鉄京都線急行)→高の原駅
- 大阪駅から 約60分**
 - 大阪駅→(JR大和路線)→木津駅
 - ※北新地駅→(JR東西線・片町線(学研都市線))→木津駅 (約70分)
- 新大阪駅から 約70分**
 - 新大阪駅→(地下鉄御堂筋線)→大阪難波駅→(近鉄奈良線)→西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅
 - 新大阪駅→(JR京都線)→大阪駅→(JR大和路線)→木津駅
- 大阪国際空港から空港バス 約80分**
 - 大阪国際空港→(空港バス)→JR奈良駅→(JR大和路線)→木津駅
 - 大阪国際空港→(空港バス)→近鉄奈良駅→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅
- 関西国際空港から(JR阪和線・環状線) 約90分**
 - 関西国際空港→(JR阪和線)→天王寺駅→(JR大和路線)→木津駅
- 関西国際空港から(南海線・近鉄線) 約90分**
 - 関西国際空港→(南海線)→大阪難波駅→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅
- 関西国際空港から空港バス 約100分**
 - 関西国際空港→(空港バス)→JR奈良駅→(JR大和路線)→木津駅
 - 関西国際空港→(空港バス)→近鉄奈良駅→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅

車利用の場合

- 京都駅から 約35分**
 - 京都→(阪神高速・第二京阪)→八幡東I.C.→(府道他)→田辺北I.C.→(京奈和自動車道)→山田川I.C.または木津I.C.
- 京都駅から 約50分**
 - 京都→(国道1号または24号)→城陽I.C.→(京奈和自動車道)→山田川I.C.または木津I.C.
- 大阪駅から 約50分**
 - 大阪→(阪神高速、第二京阪)→奈良→木津川市
 - 大阪→(阪神高速)→森小路→(国道163号)→木津川市



木津川市主要施設

木津川市役所	木津川市木津南垣外 110 番地 9	(代表)TEL 0774-72-0501
木津川市加茂支所	木津川市加茂町里南古田 156 番地	TEL 0774-76-3611
木津川市山城支所	木津川市山城町上粕北的場 3 番地 1	TEL 0774-86-2300
木津川市西部出張所 (イオン高の原ショッピングセンター内)	木津川市相楽台 1 丁目 1 番地 1	TEL 0774-72-6770
木津川市山城行政サービスコーナー (山城図書館内)	木津川市山城町平尾前田 24 番地	TEL 0774-86-5001
京都山城総合医療センター	木津川市木津駅前 1 丁目 27 番地	TEL 0774-72-0235
木津警察署	木津川市木津南垣外 15 番地	TEL 0774-72-0110
相楽中部消防本部	木津川市木津白口 10 番地 2	TEL 0774-72-2119

観光案内情報

NPO法人 ふるさと案内・かも
TEL・FAX 0774-76-3989
<http://www.ne.jp/asahi/furusatoannai/kamo/>

山城町ふるさと案内人の会
TEL 0774-73-8191 (木津川市観光協会内)



木津川市観光商工課

木津川市木津南垣外 110 番地 9
TEL 0774-75-1216

<http://www.city.kizugawa.lg.jp>



一般社団法人 木津川市観光協会

木津川市州見台 1 丁目 1 番地 1
ガーデンモール木津川 2 階

TEL 0774-73-8191・FAX 0774-73-8136

お越しの前に、木津川市の観光情報を是非御覧下さい!

<http://www.0774.or.jp>

